

2018年10月29日  
関西電力株式会社

2018年度 第2四半期 会社説明会

<主なQA>

Q. 来期以降の利益水準、配当の考え方は。

A. 来期以降の利益水準については、販売電力量が見通せないこと、また、電力システム改革の議論の動向により、競争環境が変動しうることから、現時点では具体的には申し上げられないが、企業価値の増大を図るよう、全力を尽くしていきたい。

また、経営資源の配分については、経営環境を踏まえつつ、各ステークホルダーに対して、バランスの取れた還元を行っていきたい。

Q. 個別、連結の設備投資の通期見通しは。

A. 通期の設備投資見通しについては、連結で5,400億円程度、個別で4,250億円程度と、昨年度を上回る見通しである。主な増加要因としては、連結・個別とも原子力の安全性向上対策工事における支出の増である。

以上